



# 資産レース

## インフラストラクチャー： 強力な基盤の上に構築

BNY Mellon、アラン・フラナガン、ロバート・ワグスタッフ

「我々はインフラ資産への投資を増やしており、今後とも投資比率を高位に維持する方針です。インフラ開発の必要性が高まっているのは明らかであり、インフラ資産に投資することによって、他の資産クラスに比較して低リスクの持続可能な長期投資にアクセスすることができます」

EMEA (欧州・中東・アフリカ) の  
年金基金投資責任者

インフラ資産への投資資金の流入額が  
記録的な水準に達している



インフラストラクチャーは過去数年間に、プライベートエクイティなど実績ある資産クラスと並ぶオルタナティブ資産ポートフォリオの中核的な資産として、着実に成長してきました。過去2年間はインフラ・ファンドに世界の投資家から記録的な水準の資金が流入し、流入額は2016年<sup>1</sup>に556億米ドル、2017年は543億米ドルに達しました。

インフラ資産の人気の高まっている一因は高水準のリターンで、最近実施した当社の「資産レース (Race for Assets)」調査では、パフォーマンスが見通しと同じ或いはそれを上回る水準に達したと回答した投資家が79%に上りました。リターンに対する満足度の高さは、来年も概ね安定的なアロケーションを維持するという調査結果にも表れています。投資家は平均すればオルタナティブ資産へのエクスポージャーの約18.5%をインフラ資産に振り向けています。

しかし、投資家を引き付けている要因はリターンばかりではありません。インフラ資産は投資期間が長いため、保険会社、年金基金、そしてとりわけ政府系ファンドの長期的な投資目標や負債にうまく合致する可能性があります。それに加え、インフラ資産やプロジェクトは公共財—ソーシャルハウジングやヘルスケア施設から学校、再生可能エネルギー生産施設に至るまで—を生み出すケースが多いほか、道路、橋梁、空港などの分野への投資が経済成長に直接的な影響を及ぼすという事実は、今日の投資家の間で、サステナビリティや、環境・社会・ガバナンス (ESG) を重視する姿勢が高まっていることにもうまく合致しています。

<sup>1</sup> インフラレーション・グループ (Infraction Group)

<sup>2</sup> BNY Mellon「資産レース (The Race for Assets)」 [https://www.bnymellon.com/\\_global-assets/pdf/our-thinking/the-race-for-assets-alternative-investments-surge-ahead.pdf](https://www.bnymellon.com/_global-assets/pdf/our-thinking/the-race-for-assets-alternative-investments-surge-ahead.pdf)







# 提言

## ファンドマネージャーがインフラ投資で成功する土台を築く上で役立つ3つの方法

**1 透明性を改善する方法の例としては、プライベートエクイティファンドを参考にすること。** 当社の調査でも、透明性に対する投資家の満足度については、インフラ債券よりもプライベートエクイティファンドの方がはるかに高いことが明らかになっています。ファンドマネージャーは、プライベートエクイティファンドが関連するシステムの開発をどのように行っているかを調査し、また彼らの経験から学ぶことが必要です。

**2 金利の上昇に注意すること。** 低金利環境下では、多くの投資家がインフラ資産を比較的高利回りの資産クラスとして見ていましたが、金融政策が今後数年間にわたり正常化されるなかで、投資家の一部は方針転換し、より単純で流動性の高い債券への投資機会を検討し始める可能性があります。

**3 投資家の資金を呼び込むためにより革新的なソリューションを探索すること。** 機関投資家の需要は増加しつつありますが、彼らの主要な要求事項の中には、流動性の高さと、低コストで多額の資金を調達し投資したいという欲求が含まれています。ファンドマネージャーは、このような需要に応えるために新たな構造や戦略を構築することが必要となる可能性が高くなるでしょう。

本シリーズの最新情報については以下をご覧ください。[bnymellon.com/raceforassets](http://bnymellon.com/raceforassets).

Contact us for more information:



### アラン・フラナガン

BNY Mellon オルタナティブ・インベストメント・サービス  
プライベートマーケット・ソリューションズ  
グローバルヘッド  
[alan.flanagan@bnymellon.com](mailto:alan.flanagan@bnymellon.com)



### ロバート・ワグスタフ

BNY Mellon コーポレート・トラスト  
EMEA ビジネス・ディベロップメント・ヘッド  
[robert.wagstaff@bnymellon.com](mailto:robert.wagstaff@bnymellon.com)

## FT Remark

Research from the Financial Times

FTリマーク社は、主要なオーディエンスセグメントの考察や見解を調査し、これをマルチプラットフォーム型のソートリーダーシップキャンペーンの土台構築に利用して、個別にカスタマイズした調査レポートを作成しています。FTリマーク社の調査はアクュリス傘下のアクュリス・スタジオ社が実施し、FT.comおよびFTライブイベントを通じてフィナンシャル・タイムズの読者に対して配布されています。



## BNY MELLON

BNY Mellonは、お客様の金融資産の運用と管理を投資サイクルの始めから終わりまで支援するグローバルなインベストメント・カンパニーです。BNY Mellonは、35カ国において機関投資家、企業および個人投資家のお客様に資産運用・投資サービスを提供しています。2018年3月31日現在、保護預りまたは管理資産残高は33.5兆米ドル、運用資産残高は1.9兆米ドルです。BNY Mellonはお客様の投資対象の組成、取引、保有、運用、管理、分配、再構築をかえざる際のワンストップの窓口としてサービスをご提供しています。BNY Mellonは、The Bank of New York Mellon Corporation (NYSE: BK) のコーポレートブランドです。

詳しくは、[www.bnymellon.com](http://www.bnymellon.com)をご覧ください。最新の企業情報についてはTwitter (@BNYMellon) で当社をフォローしていただくか、弊社HPのニュースルーム ([www.bnymellon.com/bnymellon.com/newsroom](http://www.bnymellon.com/bnymellon.com/newsroom)) をご覧ください。

### bnymellon.com

BNY Mellonは、The Bank of New York Mellon Corporationのコーポレートブランドであり、当社全体及び/又は当社の様々な子会社を指す一般名称として使用される場合があります。本書は情報提供のみを目的として提供されるもので、財務、法務、規制、その他に関して信頼できる専門的な助言を提供することは意図されていません。BNY Mellonは、本書に記載されているいかなる情報も更新する義務を負いません。また、本書に記載されている見解や情報は予告なしに変更されることがあります。BNY Mellonは、本書の誤り或いは本書に依拠することにより生じる誤りに対して直接責任および結果責任は一切負いません。BNY Mellonの書面による事前の許可なく、本書を複製または本書の情報を開示することはいかなる形式であっても禁止されています。商標、サービスマーク、ロゴに関する権利は、それぞれの権利の所有者に帰属します。詳しい開示情報についてはこちらのページ (<https://www.bnymellon.com/us/en/disclaimers/business-disclaimers.jsp#ais-corporatetrust>) をご参照ください。

©2018 The Bank of New York Mellon Corporation. 無断複製・複製・転載を禁ず。